



平成 30 年 1 月 18 日
報 道 発 表 資 料

担当課名	観光交流課空港対策室
担当者名	堀本、清水、丸山
電話番号	0856-23-0990
FAX番号	0856-23-4655
E-mail	keiko-maruyama@city.masuda.lg.jp

全日本空輸（ANA）の平成30年度上期運航計画

上期運航計画期間：平成30年3月25日（日）～平成30年10月27日（土）
なお、機材・ダイヤについては予定であり、変更される場合があります。

1. 萩・石見－東京（羽田）線

- ・便数及びダイヤについては平成29年度と概ね同じ
- ・9月1日（土）から10月27日（土）の期間は、1103便及び1104便はA321（194席）で運航

東京（羽田） ⇒ 萩・石見				萩・石見 ⇒ 東京（羽田）			
便名	機材	期間	ダイヤ	便名	機材	期間	ダイヤ
575	738 32A	3/25～5/31	10:40⇒12:15	576	738 32A	3/25～6/30	12:55⇒14:25
		6/1～6/30	10:45⇒12:20			7/1～9/30	12:50⇒14:25
		7/1～9/30	10:45⇒12:15			10/1～10/27	12:55⇒14:25
		10/1～10/27	10:40⇒12:15				
1103	738 32A 321	3/25～6/30	15:30⇒17:05	1104	738 32A 321	3/25～6/30	17:45⇒19:20
		7/1～9/30	15:30⇒17:00			7/1～9/30	17:40⇒19:20
		10/1～10/27	15:30⇒17:05			10/1～10/27	17:45⇒19:20

機材 738：ボーイング737-800(166席又は167席)、32A：エアバスA320(166席)
321：エアバスA321（194席）

2. 萩・石見－大阪（伊丹）線

運航期間、機材及びダイヤは平成29年度と同じ

大阪（伊丹） ⇒ 萩・石見			萩・石見 ⇒ 大阪（伊丹）		
便名	機材	ダイヤ	便名	機材	ダイヤ
1147	DHC8-Q400	13:30 ⇒ 14:35	1148	DHC8-Q400	15:10 ⇒ 16:10

運航期間：平成30年8月4日（土）～平成30年8月21日（火）[計18日間]

座席数：DHC8-Q400（74席）

【参 考】

<東京（羽田）線の運航状況>

区 分	便名	H29 年度上期		H29 年度下期	
		ダイヤ	機材	ダイヤ	機材
羽田⇒萩・石見	575	10:45 ⇒ 12:20	B737-800	10:35 ⇒ 12:15	B737-800
	1103	15:30 ⇒ 17:05	A320	15:25 ⇒ 17:05	A320
萩・石見⇒羽田	576	12:55 ⇒ 14:25	B737-800	12:50 ⇒ 14:20	B737-800
	1104	17:40 ⇒ 19:15	A320	17:45 ⇒ 19:20	A320

上期運航期間：平成 29 年 3 月 26 日（日）～平成 29 年 10 月 28 日（土）

下期運航期間：平成 29 年 10 月 29 日（日）～平成 30 年 3 月 24 日（土）

機材：平成 29 年 6 月 1 日～7 月 13 日の期間は、575 便及び 576 便は B737-800（120 席）で運航

ダイヤ：「平成 29 年 7 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日」の期間は、575 便及び 1103 便は萩・石見空港に 5 分早着、576 便及び 1104 便は萩・石見空港を 5 分早発での運航。

「平成 29 年 12 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日」の期間は、575 便及び 1103 便は萩・石見空港に 5 分遅着、576 便及び 1104 便は萩・石見空港を 5 分遅発での運航。

<大阪（伊丹）線の運航状況>

大阪（伊丹） ⇒ 萩・石見			萩・石見 ⇒ 大阪（伊丹）		
便名	機材	ダイヤ	便名	機材	ダイヤ
1147	DHC8-Q400	13 : 30 ⇒ 14 : 35	1148	DHC8-Q400	15 : 10 ⇒ 16 : 10

運航期間：平成 29 年 8 月 4 日（金）～平成 29 年 8 月 21 日（月）[計 18 日間]

萩・石見空港—大阪(伊丹)路線の期間限定運航について

(益田市長コメント)

本日、全日本空輸株式会社(ANA)から平成30年度上期運航計画が発表され、萩・石見空港—大阪(伊丹)路線の期間限定運航が継続されることとなりました。

昨年は目標の2,150席の達成はできず残念な結果でしたが、今年の運航の期間が昨年同様のお盆期間の前後という需要の高い時期に設定されたことは、航空事業者としての一定の配慮をいただいたものと思っております。

協議会としましては、運航期間拡大、更には定期便再開を目指し、全日本空輸株式会社、島根県、圏域市町、関係団体そして住民の皆様と一緒の連携を図り、利用促進に取り組んでまいりたいと考えております。

平成30年1月18日

萩・石見空港利用拡大促進協議会

会長 益田市長 山本 浩章